

**授業概要**

これからは、国や企業が一般国民を守ってくれないかもしれない。自己責任の原則が叫ばれているように、自分の未来は自分で何とかしていかなければならない時代になりました。

こういう時代には、「金融」に関する知識を身に付け、いかにして自分が持っている資産を上手に運用できるかが重要となります。この講義がその手助けになればと思います。

**授業計画**

第1回	イントロダクション・講義の概要、進行方法、評価方法
第2回	金融システム/お金を運ぶ仕組みのことを講義する
第3回	金融市場/短期金融市場と長期金融市場について講義する
第4回	金融機関/民間金融機関と政府系金融機関について講義する
第5回	金融商品/直接金融型と間接金融型について講義する
第6回	インターネット金融/インターネット銀行の活用法について講義する
第7回	企業の資金調達/負債と株式を発行するエクイティーによる資金調達を講義する
第8回	金融規制/政府の銀行への関与、様々な方法で金融に関与していることを講義する
第9回	利子率/利子は、高く低くなったり、借りる条件や人によって違ったりすることを講義する
第10回	株価/株式の収益やリスクはどのようなもので、それはどのように決まるのかを講義する
第11回	為替レート/通貨の交換比率、すなわち、為替レートの決定要因を講義する
第12回	貨幣市場の需要と供給/中央銀行のマネースtockコントロールについて講義する
第13回	金融政策/中央銀行が物価の安定や経済の安定化のために行う金融政策について講義する
第14回	現代日本の金融機関/普通銀行の分類と銀行以外の金融機関について講義する
第15回	銀行業務の仕組みとリスク/預金、貸出、証券業務、インターバンク市場取引を講義する
第16回	筆記試験

**到達目標**

日本の金融制度に関する知識を習得する。

**履修上の注意**

必要に応じて一対一の対話式講義を行うため、『日商簿記』を読み、必要最低限の金融用語が理解していること、『日経新聞』が多少読めることが望ましい。

**予習復習**

毎回配られた講義資料の復習が求められる。

**評価方法**

成績は、レポート(30%)と期末試験(70%)により評価を行う。

**テキスト**

特に指定しない。できるだけ毎回の講義内容をプリントして配る。